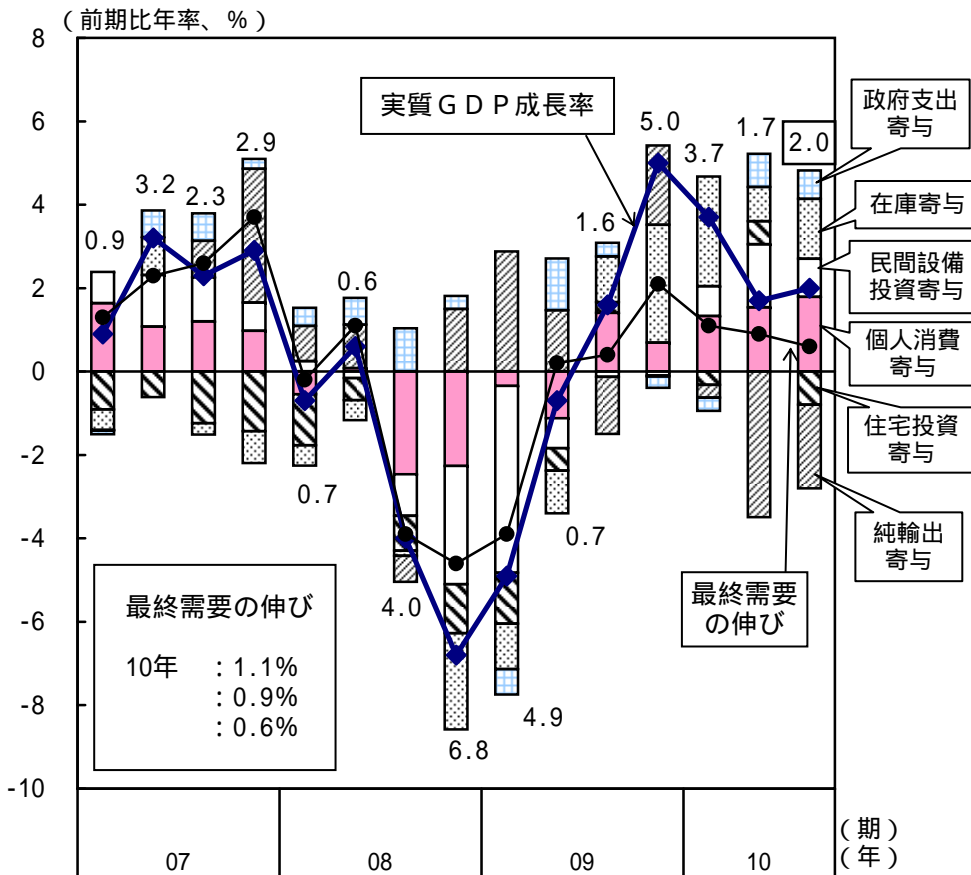


1. アメリカ

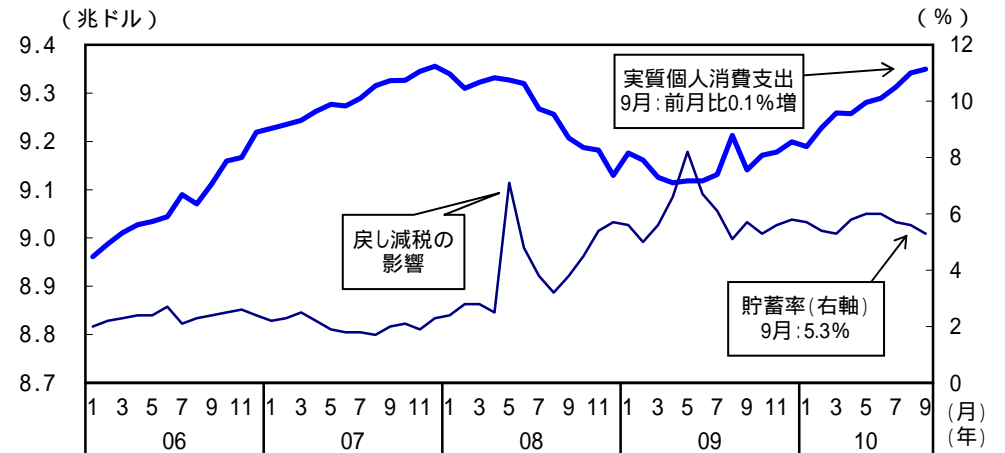
アメリカでは、失業率が高止まるなど下押し要因は依然としてあるものの、政策効果もあり、景気は緩やかに回復している。先行きについては、基調としては緩やかな回復が続くと見込まれる。ただし、信用収縮や高い失業率が継続すること等により、景気回復が停滞するリスクがある。また、景況感を示す指標に弱い動きがみられることには留意する必要がある。

GDP (第一次推計値):
2010年7~9月期は前期比年率2.0%成長



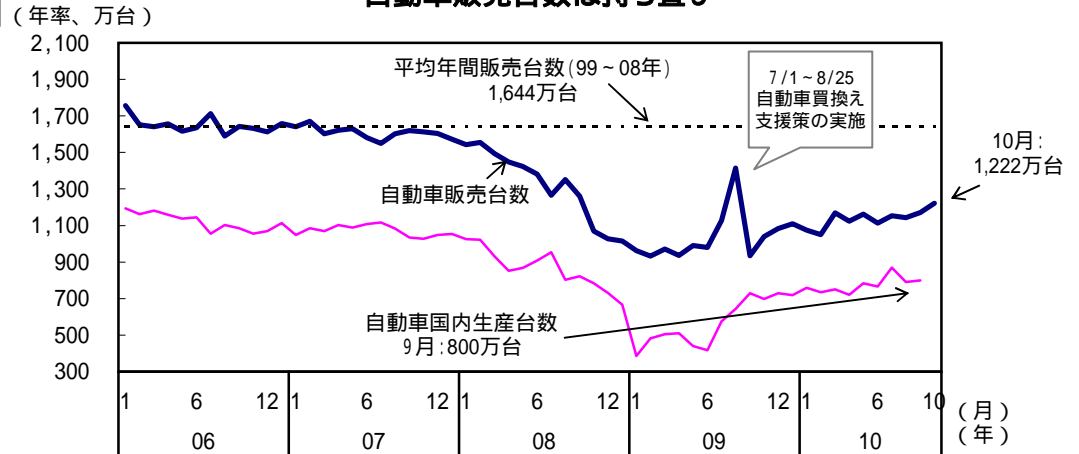
(備考) アメリカ商務省より作成。

消費:消費は緩やかに持ち直し



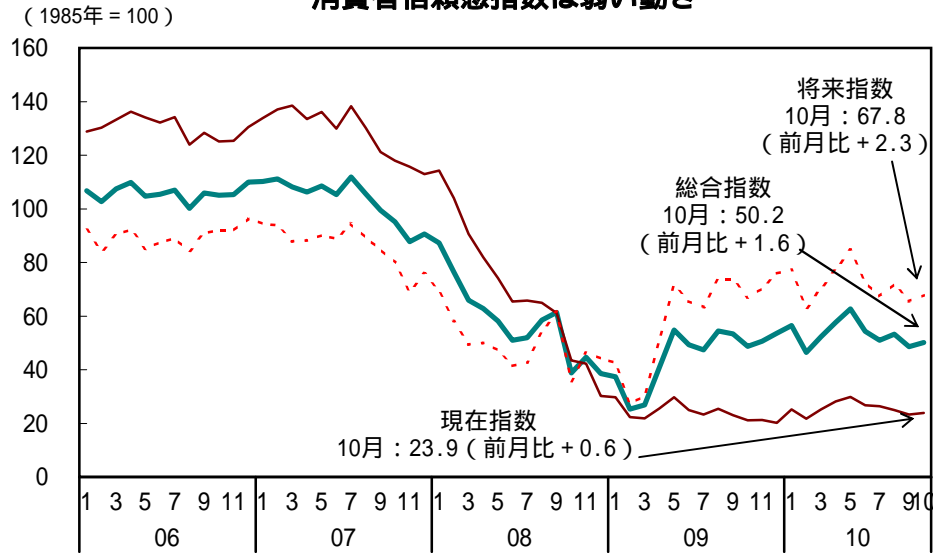
(備考) アメリカ商務省より作成。

自動車販売台数は持ち直し



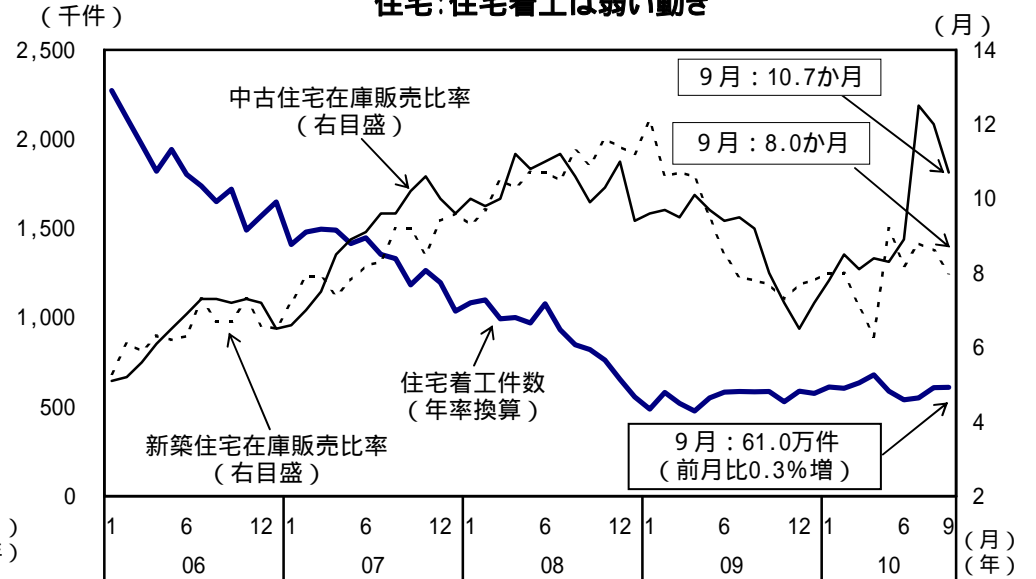
- (備考) 1. アメリカ商務省、連邦準備制度理事会(FRB)より作成。
2. 09年7月1日より、燃費の悪い中古車を下取りにして、低燃費の新車に買い換える者に対して購入額の割引(3,500ドル(約34万円)又は4,500ドル(約43万円))を行う措置を実施。当初予算額は10億ドルとされていたが、09年8月6日に20億ドル増額し、30億ドルとした。
3. 当措置は申込みの殺到により、09年8月25日で申請受付を終了した。実績は約68万台。

消費者信頼感指数は弱い動き



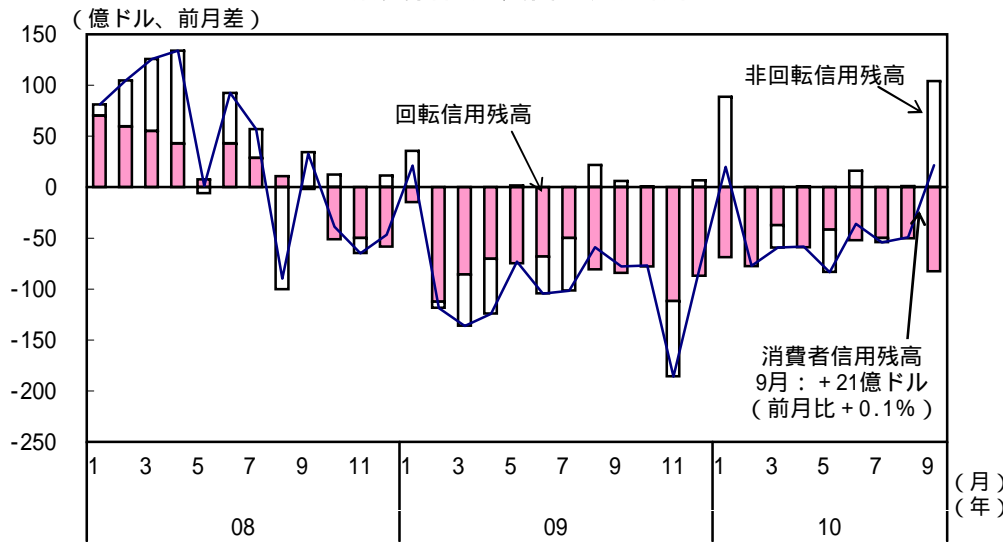
(備考) 1. コンファレンス・ボードより作成。
2. 「将来指数」は6か月後の見通し。

住宅: 住宅着工は弱い動き



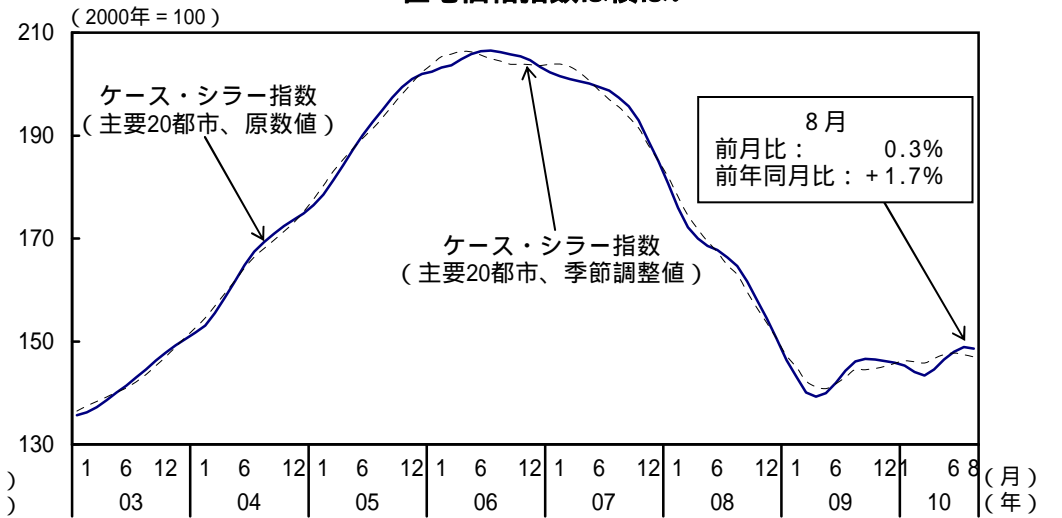
(備考) 1. アメリカ商務省、全米不動産業者協会 (NAR) より作成。
2. 在庫販売比率は、現在の住宅販売に対して何か月分の住宅在庫があるかを示す。

消費者信用残高は減少傾向



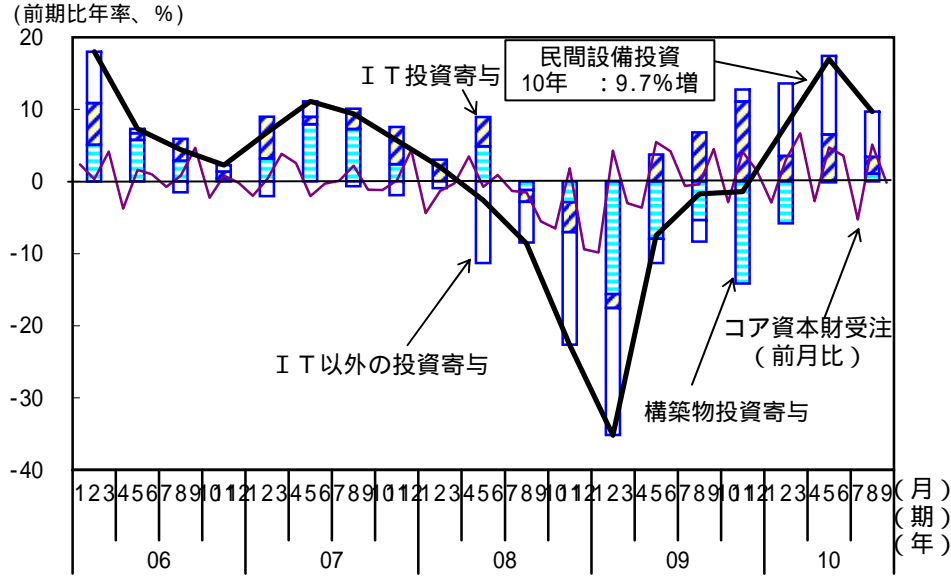
(備考) 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。

住宅価格指数は横ばい



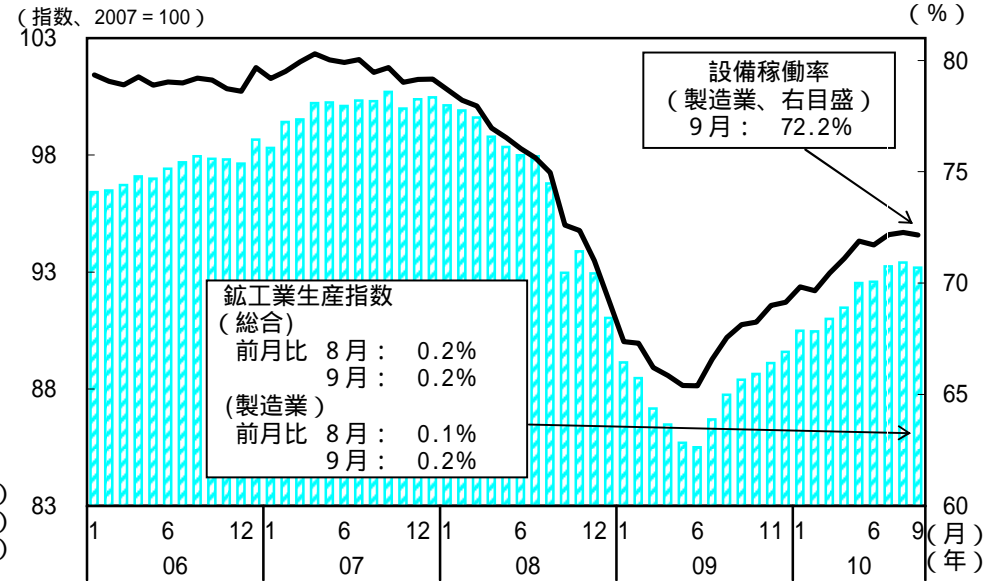
(備考) スタンダード・アンド・プアーズより作成。

設備投資:設備投資は増加しているものの、一部に弱い動き



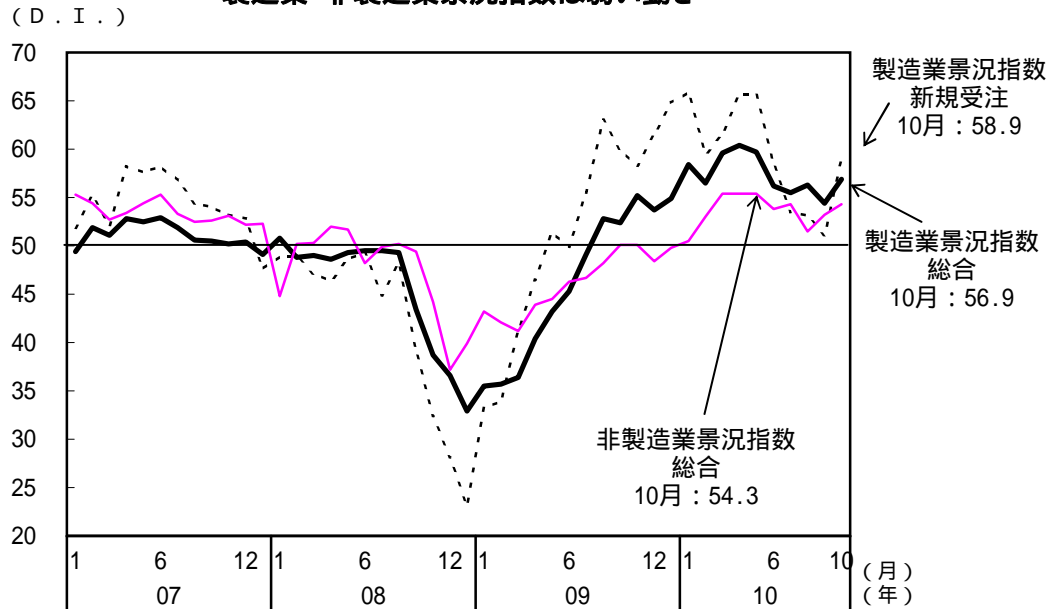
(備考) アメリカ商務省より作成。

生産:生産は増加傾向



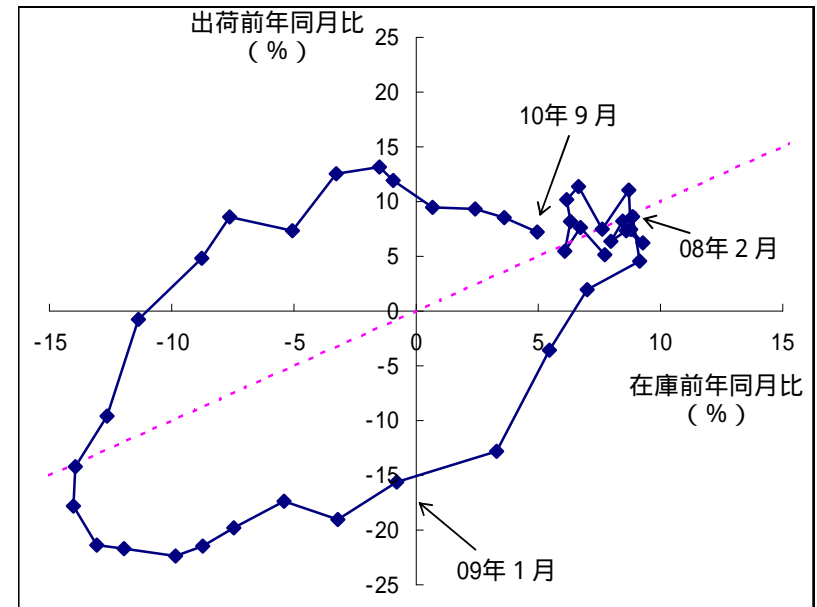
(備考) 連邦準備制度理事会 (F R B) より作成。

製造業・非製造業景況指数は弱い動き



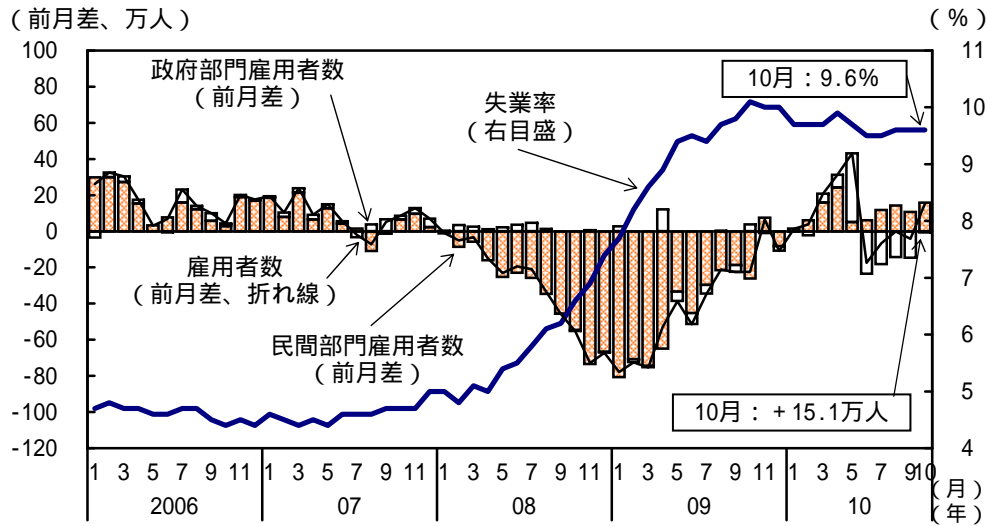
(備考) 全米供給管理協会 (I S M) より作成。

在庫循環図(製造業)

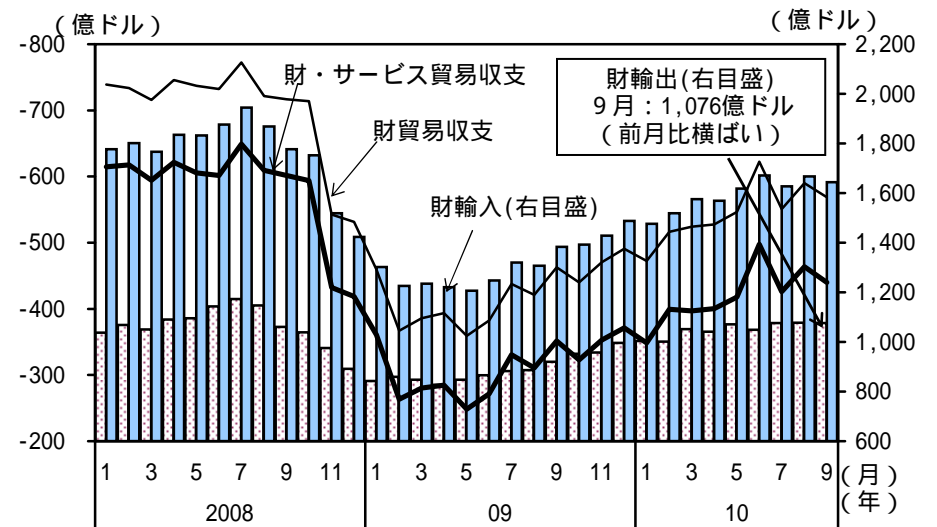


(備考) アメリカ商務省より作成。

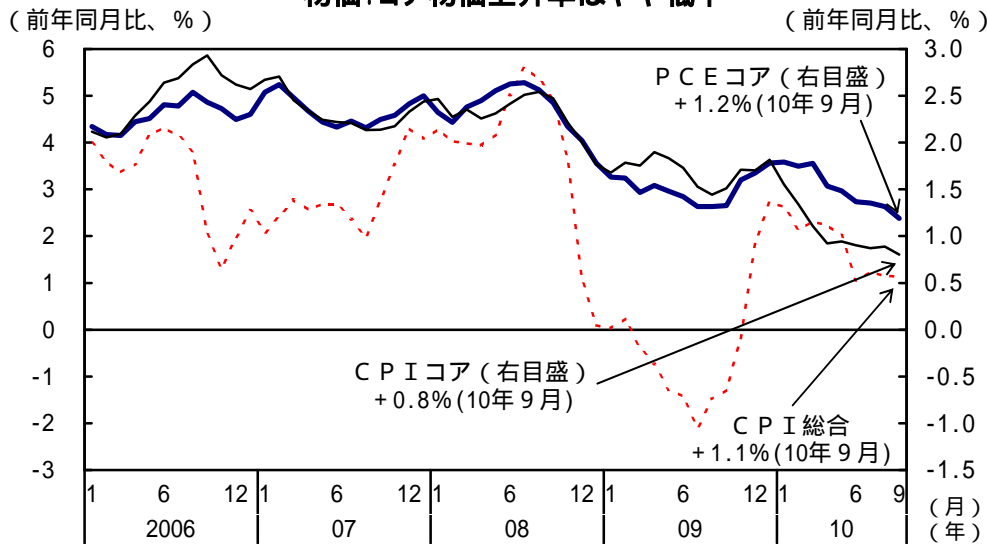
雇用：雇用者数は緩やかに増加しているが、失業率は10%近傍の高い水準



貿易：財輸出はこのところ弱い動き



物価：コア物価上昇率はやや低下



主要国際機関等による見通し

	(前年比、%)		
	2010年	11年	
ブルーチップ (民間見通し平均) (11月10日)	上位10社	2.8	2.9
	平均	2.7	2.5
	下位10社	2.7	1.9
IMF (10月6日)	2.6	2.3	
議会予算局 (CBO) (8月19日)	3.0	2.1	
行政管理予算局 (OMB) (7月23日)	3.2	3.6	
OECD (5月26日)	3.2	3.2	

	(前期比年率、%)				
	2010年	11年			
ブルーチップ (民間見通し平均)	2.2	2.4	2.7	3.0	3.3
OECD (10年5月26日)	2.7	3.1	3.4	3.5	3.7

(備考) ブルーチップ・インディケータ (10年11月10日号)、IMF “World Economic Outlook” (10年10月6日)、アメリカ議会予算局 (10年8月19日)、アメリカ行政管理予算局 (10年7月23日)、OECD “Economic Outlook 87” (10年5月26日) より作成。

金融政策：中長期国債の買取りを決定（11/2～3）

2010年11月2～3日、連邦公開市場委員会（FOMC）において追加金融緩和策が決定されたところ、概要は以下の通り。

追加的に中長期米国債を購入

期間：2011年6月末まで

規模：6,000億ドル

（1か月当たり約750億ドルのペース）

MBS等の元本償還分の再投資を合わせた規模

8,500～9,000億ドル

（1か月当たり約1,100億ドルのペース）

購入する国債の平均期間構成：5～6年

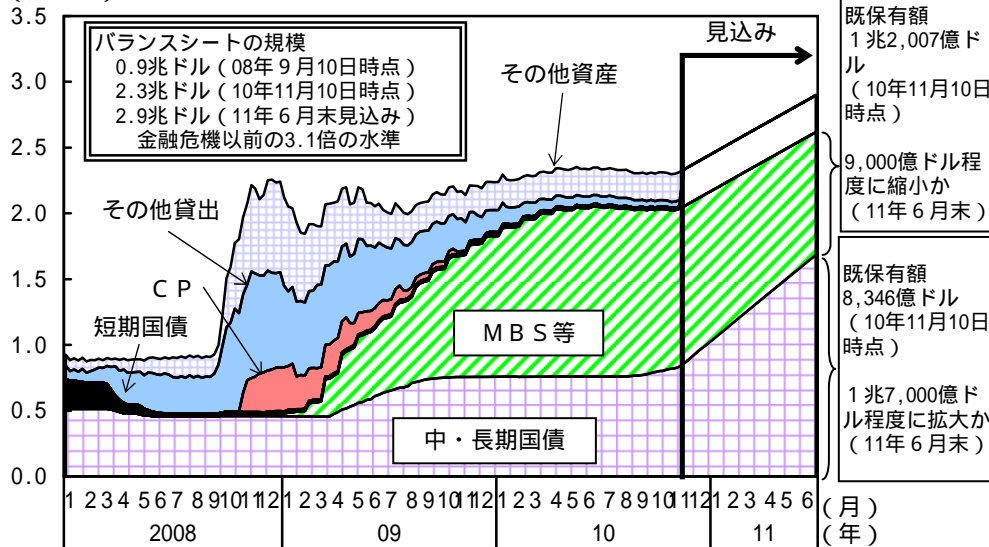
（2～30年物国債を購入）

政策金利は据え置き

（備考）連邦準備制度理事会（FRB）より作成。

FRBのバランスシート

（兆ドル）



（備考）1. 連邦準備制度理事会（FRB）より作成。
2. 見込みはニューヨーク連銀資料より内閣府推計。

政策金利・非伝統的金融政策の推移

預金金融機関向け連銀貸出拡充制度（TAF）

：07年12月～10年3月

プライマリー・ディーラー向けタム物国債
貸出制度（TSLF）

：08年3月～10年2月

プライマリー・ディーラー向け連銀窓口貸出
制度（PDCF）

：08年3月～10年2月

ABC P買取りへの貸出（AMLF）

：08年9月～10年2月

MMFから資産を買い取る特別目的会社への
貸出（MMIFF）

：08年10月～09年10月

資産担保証券（ABS）保有者へ貸出
（TALF）

：09年3月～10年6月

CP買取り：08年10月～10年2月

MBS等買取り：09年1月～10年3月

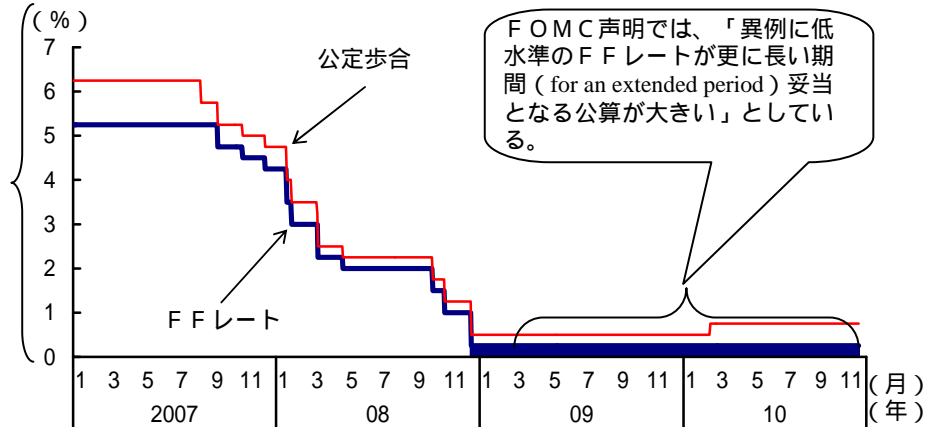
中長期国債買取り：09年3月～09年10月

中長期国債買取り再開

10年8月～ MBS等の元本償還分の買取り
10年11月～11年6月 追加で6,000億ドル規模の買取り

流動性供給策・非伝統的金融政策

政策金利・公定歩合



（備考）連邦準備制度理事会（FRB）より作成。